

令和4年度あさご未来会議

開催趣旨・本日の流れ



企画総務部 総合政策課

第3次朝来市総合計画 令和4年4月スタート！

市民の皆さんと対話で
まちの将来を描く

令和2～3年度

- Hello ASAGOiNG Net(オンライン)
- あさご未来会議
- 総合計画審議会



第3次朝来市総合計画

計画期間：令和4～11年度(8年間)

＼朝来市の未来を切り拓く／

みんなの合言葉

まちの未来を考えるあさご未来会議に集まった多様な市民のみなさんの対話から、朝来市が目指す将来像「人と人がつながり 幸せが循環するまち」の実現に向けたみんなの合言葉が生まれました。みんなの前向きな気持ちがあることで、朝来市のまちづくりは進んでいきます。一人一人が暮らしの中で声をかけ合っていきましょう！

みんなで目指す将来像
人と人がつながり
幸せが循環するまち
—対話で描く朝来市の未来—

第3次朝来市総合計画(計画期間：令和4年度～令和11年度)
まち全体が幸せであるために、まず市民一人一人が幸せを実感できることが大切です。小さなことでも自分のやりがいや誇りを感じてほしい。人は人を幸せにできます。そのうえ、誰かの役に立ったり、困ったときに助けられる人がいれば、次なるチャレンジに向かう勇気もわいてきます。朝来市は、一人一人の幸せを育み、互いに寄り合うことで、「人と人がつながり 幸せが循環するまち」の実現をめざしています。

朝来市 ASAGOiNG

※ 総合計画ポスター

総合計画策定に向けて あさご未来会議での意見①

1. 市民力や地域力をはじめとする人と人のつながりは、朝来市がもつ財産であり、これからも大切にしたい。
(人と人とのつながり、自治力、ありがとうの循環)
2. 市民一人一人を大切にした暮らしは、市民の幸せにつながり、まち全体の幸せにつながる。
(多様性、共生、真の豊かさ・幸せの実感 (ウェルビーイング))
3. 朝来市らしい自然とともにある心豊かな暮らしを未来につなぐ。
(持続可能性、自然との共生)

総合計画策定に向けて あさご未来会議での意見②



対話

市民一人一人
幸せの実感

自立 共生

- 主体性
- 多様性
- シビックプライド
(まちへの愛着・誇り、
まちの一員である自負心)
- 学び
- つながり・連携

- 地域の自治力
- 内発的な経済力
- 地域内経済循環
(食・農林業含む)

- 地域共生
- 多文化共生
- 自然との共生

第3次朝来市総合計画 目指すまちの将来像

人と人がつながり 幸せが循環するまち
～対話で拓く朝来市の未来～

地域力をはじめとする市民相互のつながりに加え、市民と市内外の多様なつながりが、朝来市を前進させる新たな動きを育みます。

つながりから生じた新たな動きが市民の幸せを創出し、新たな動きと幸せが周囲に波及・伝播して、市民一人一人が実感することで、まち全体が幸せであふれる『幸せが循環するまち』を目指し、まちづくりを進めます。

第3次朝来市総合計画 目指すまちの姿



ありたいまちの姿1
「やりたい」につながる多様な学びで、
未来をつくる「人」を育む



ありたいまちの姿2
人と自然が共生しながら地域で循環する産業を確立する



ありたいまちの姿3
多様なつながり・交流を育み、地域力をより高める



ありたいまちの姿4
誰もが居場所や役割を持ち、
健幸で心豊かな暮らしを実感できる



ありたいまちの姿5
市民の暮らしを支える安全・安心な都市基盤を持続する

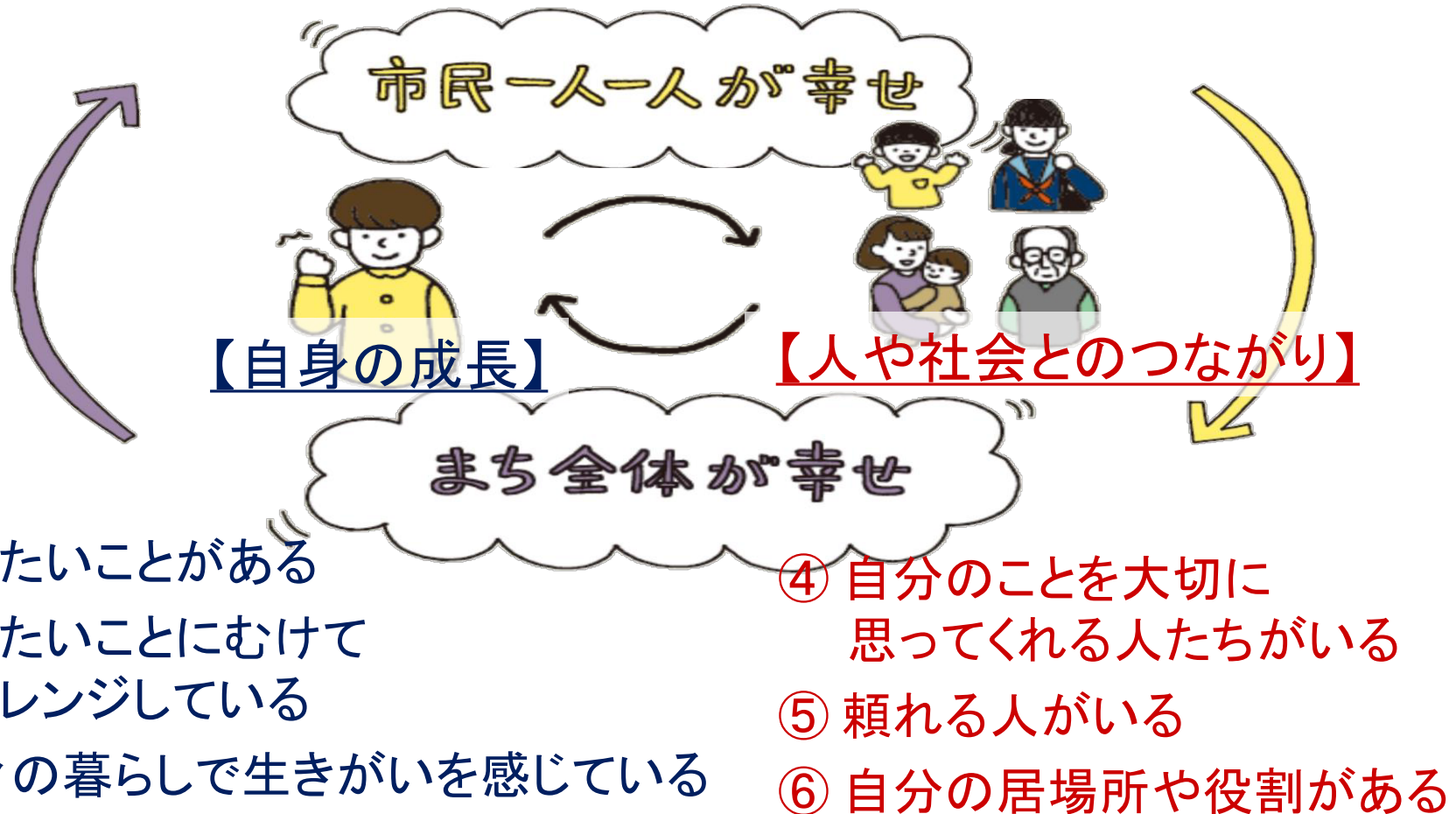


ありたいまちの姿6
まちの動きや情報を戦略的につなぎ、
効率的で健全な行財政運営を実現する

人と人がつながり
対話で拓く朝来市の未来
幸せが循環するまち

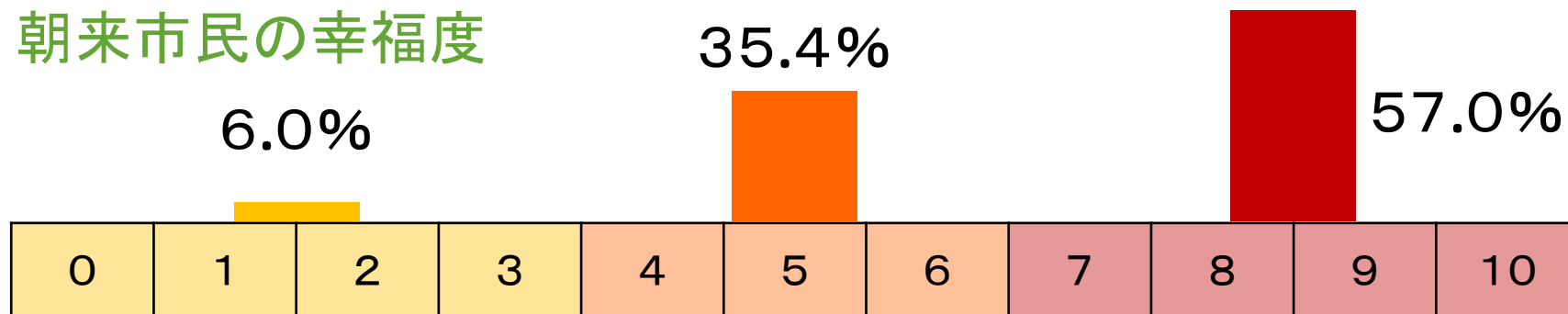
※ 詳細は『考え方ガイド』をご覧ください。

第3次朝来市総合計画 目指す市民一人一人の姿



朝来市民の皆さんの幸福度 (令和4年5月市民アンケート調査から)

■ 朝来市民の幸福度



■ 朝来市民の幸福度に影響を与える要素(市民一人一人の姿)

加重平均モデル	全体	低0-3	中4-6	高7-10
①やりたいこと(趣味・学び・活動・仕事等)がある	0.72	-0.41	0.12	1.09
②やりたいことに向けてチャレンジ(準備・実行等)している	0.15	-0.81	-0.53	0.60
③日々の暮らしで生きがいを感じている	0.61	-1.34	-0.29	1.17
④自分のことを大切に思ってくれる人たちがいる	1.41	0.09	1.10	1.64
⑤頼れる人(家族・友人・地域の人等)がいる	1.36	-0.21	1.12	1.58
⑥自分の居場所や役割がある(家庭・地域・職場等)	1.23	-0.08	0.86	1.51

幸福度が高い人は、「自身の成長」と「人や社会とのつながり」が高い

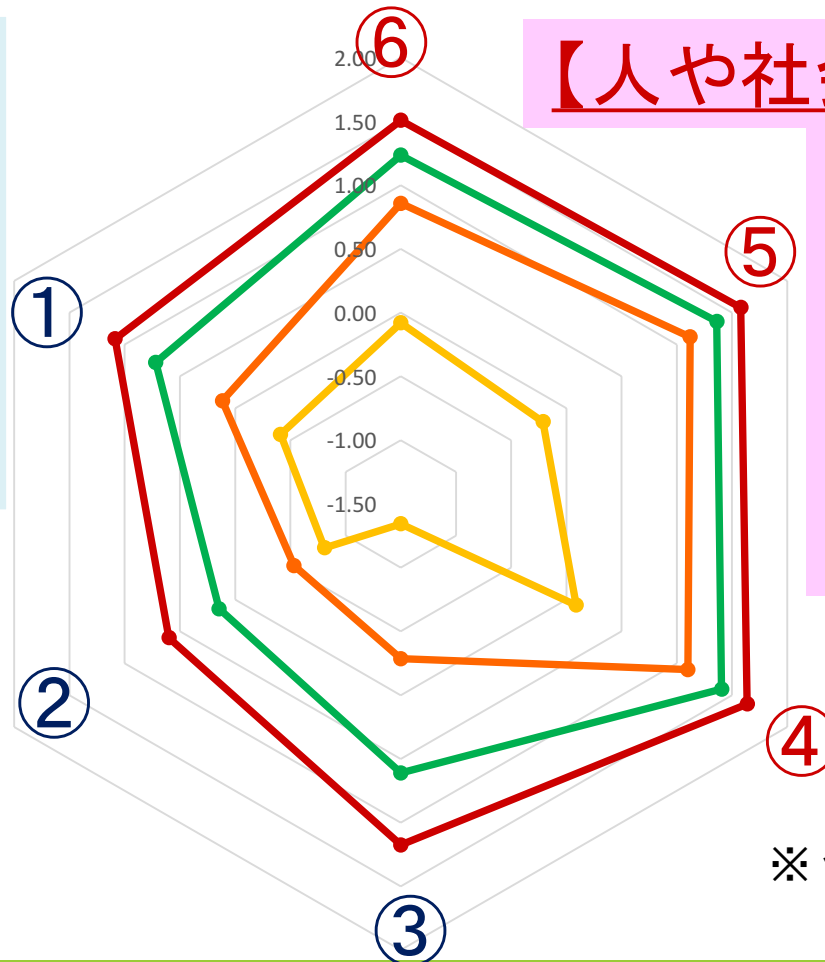
【自身の成長】

- ① やりたいことがある
- ② やりたいことにむけてチャレンジしている
- ③ 日々の暮らしで生きがいを感じている

【人や社会とのつながり】

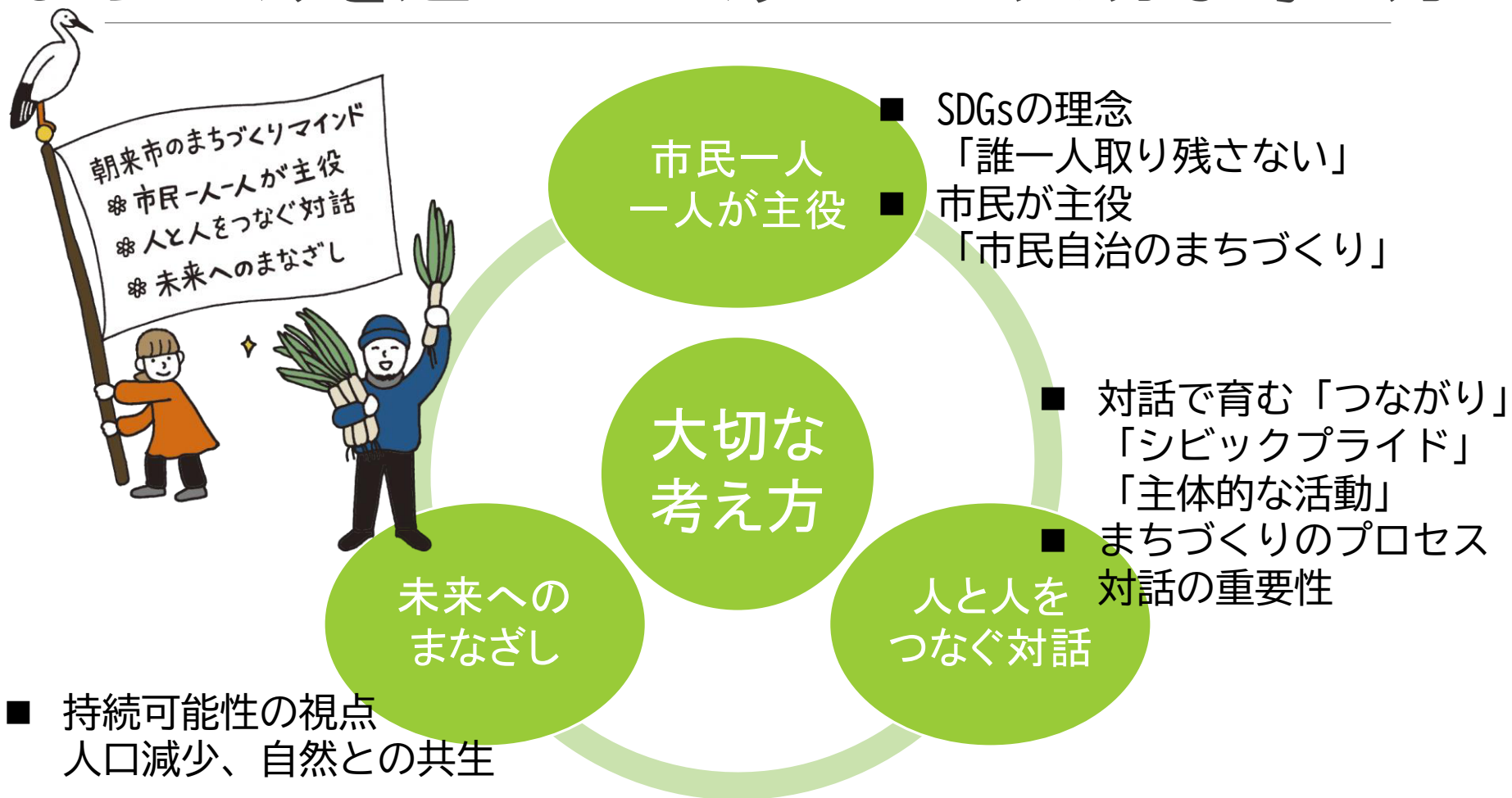
- ④ 自分のことを大切に思ってくれる人たちがいる
- ⑤ 頼れる人がいる
- ⑥ 自分の居場所や役割がある

- 幸福度: 高(7-10)
- 幸福度: 中(4-6)
- 幸福度: 低(0-3)
- 朝来市平均



※ 令和4年5月
市民アンケート調査結果より

市民の皆さんの幸福度を高める まちづくりを進めていくうえでの大切な考え方



市民の皆さんの幸福度を高める まちづくり

■ 第3次朝来市総合計画審議会草郷会長の論考から

ウェルビーイングを重視することとは？

誰もが人間らしく生きることができる生活基盤を持ち、社会の一員として認められ、社会参画し、将来世代に対して劣化させないで環境を継承していくこと。



ウェルビーイングを重視する地域づくりとは？

市民が主体的に目指す社会の在り方を描き、未来ビジョンを設定し、市民自らが行動していくこと。

令和4年度あさご未来会議 開催趣旨



人と人がつながり
幸せが循環するまち

～対話で拓く朝来市の未来～

具体的な
将来像を
描く

具体的な
取組を考
える

私・私たち
の一步

- ・将来像
に近づく
- ・まちも幸せ
- ・私たちも
幸せ

朝来市の未来とともに
私たちやまちの幸せを創る対話の場

令和4年度あさご未来会議 対話テーマ

回	テーマ		ありたい まちの姿
第1回	テーマA	誰もが参加しやすい自治会・地域自治協議会活動	3
	テーマB	みんなで考える暮らしを豊かにする地域公共交通	5
第2回	テーマC	誰もが自分らしく働くことができる多様な働き方の実現	2
	テーマD	農林畜産業の担い手の育成と耕作放棄地の解消	2
第3回	テーマE	誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らす地域社会づくり	4
	テーマF	地域の中で安心して子育てができる環境づくり	4

テーマAの目指すまちの姿

「誰もが参加しやすい自治会・地域自治協議会活動」

■ ありたいまちの姿3



多様なつながり・交流を育み、
地域力をより高める

人と人のつながり・交流を育むことで様々な活動につなげ、多様な人が参画する地域コミュニティの充実を図るとともに、移住定住の推進や関係人口の創出等の新たな力により、地域力がさらに高まっているまちを目指します。

テーマBの目指すまちの姿

「みんなで考える暮らしを豊かにする地域公共交通」

■ ありたいまちの姿5



市民の暮らしを支える安全・安心な
都市基盤を持続する

市民の暮らしを支える都市基盤の持続可能な維持管理・運営を図ります。また、地域防災力の強化や公共交通の確保等により、誰もが地域の中で安全・安心に暮らせるまちを目指します。

本日のプログラムの流れ

ステップ 1

- オープニング（趣旨・対話概要等の説明）
- 対話テーマの話題提供 ⇒ 対話テーマ選択

ステップ 2

- グループ対話
- ギャラリーウォーク、ふりかえり対話

ステップ 3

- クロージング
（市長コメント、次回の案内など）



グループ対話の流れとポイント



対話①

- 対話テーマの具体的にめざしたい状態

子ども・高校生・若者・高齢者・障害がある人・女性・移住者・在住外国人・市外の人（関係人口や観光客）等のそれぞれの立場を意識し、「市民一人一人が主役」となれるよう考えよう！

対話②

- 取り組みのアイデア

「自身の成長」と「人や社会とのつながり」を意識しながら考えよう！

対話③

- 私や私たちのアクション

誰と一緒にするかを考えよう！

グループ対話でのお願い

参加者みんなで作りに上げていく場に！

- ✓ 発言はゆっくりでも大丈夫！
… 誰もが発言しやすいように。
- ✓ 市職員も一緒に学ぶ場に
… 採用1年目・2年目の職員が参加しています。
- ✓ 子どもたちと一緒にみよう！
… この子どもたちが大きくなった時に
誇れる朝来市づくりとなる対話の場に。

